

日本地震工学会 会員各位

日頃より日本地震工学会諸活動にご協力賜り厚くお礼申し上げます。
さて、恒例となりました、本会主催による「第4回震災予防講演会」
「命を守る避難の課題 講演会」二つの講演会を来る2月7日に
横浜にて開催することになりました。
つきましては、下記のプログラムをご確認いただき、
ご参加たまわれれば幸いに存じます。

□午前：
命を守る避難の課題 講演会
日時：2014年2月7日（金）10:30～12:00
場所：パシフィコ横浜・アネックスホール2階203会場（横浜市西区みなとみらい1-1-1）
プログラム：（10:30～12:00）
1. 大津波からの避難の課題と対策 — 1万8千余名の死者行方不明者が残した教訓 —
後藤洋三（東京大学地震研究所外来研究員）
2. 大都市における避難の課題と対策
久田嘉章（工学院大学教授）
3. 避難シミュレーションの最先端
末松孝司（東京工業大学連携教授）

詳細：
<http://www.jaee.gr.jp/wp-content/uploads/2013/11/report131125.pdf>

■午後：
第4回震災予防講演会 人と自然歴史に学ぶ防災論— 楽しく学び賢く防ごう—
日時：2014年2月7日（金）13:00～16:16:30
場所：パシフィコ横浜・アネックスホール2階203会議室（横浜市西区みなとみらい1-1-1）
1. 市民と共に七転び八起き
荏本 孝久（神奈川大学教授）
2. 地震や火山の恵みと子供たち
中川 和之（時事通信社解説委員）
3. 災害遺産の心に触れる
武村 雅之（名古屋大学教授）

詳細：
<http://www.jaee.gr.jp/wp-content/uploads/2013/11/20140207shinsaiyobo.pdf>

お申込みについて：
お申し込みは、折り返しこのメールにて返信をいただければ幸いです。

参加申込み：午前 命を守る避難の課題 講演会
午後 第4震災予防講演会

氏名：
所属：

日本地震工学会事務局
東京都港区芝5-26-20
電話 03-5730-2831 FAX 03-5730-2830
e-mail : office@general.jaee.gr.jp
<http://www.jaee.gr.jp>

第14回地震工学シンポジウムのOSに申請

①セッション名（和文）

大地震から巨大都市をどう守るのか

②セッション名（英文）

How to protect a megalopolis from large-scale earthquakes

③オーガナイザー氏名、所属、メールアドレス

久田嘉章 工学院大大学

大原美保 東京大学

④概要（400字以内）

東日本大震災の際、東京は震度5であったが、都心では帰宅困難者が溢れ、幹線道路は渋滞し、都市機能は麻痺状態となった。このため、むやみに帰宅・避難せず

、施設内に留まる対策が求められている。一方、従来の最大の課題は延焼火災であり、この場合は避難場所への速やかな避難が求められている。避難場所には都心部

や河川敷・沿岸部が指定される場合があり、震災時には大群集が滞留しているだけでなく、液状化や津波の危険性、さらに最悪条件では高潮や洪水等が同時発生も考

慮する必要がある。このため、今後想定される様々なタイプの大規模震災にどう備えるべきか、関連する分野を横断した取組みが求められている。本OSでは、巨大都

市での震災や水害等を対象とした被害想定・シミュレーション、防災計画・マネジメント、教育・訓練、モニタリング・危機管理、復旧・復興などの国内外の取組み

事例や研究成果を公募し、被害低減への方策を議論したい。

よろしく願いいたします。

久田